

# 第一章活用事例

小学校三・四年生版「心しなやかに」  
「孝は百行の本」

p.24  
～  
p.25

## 中心資料

「ブラッドレーのせい求書」(私たちの道徳 小学校  
三・四年 平成二十六年 文部科学省)

### 【主題名】 家族の一員として

第二学年及び第四学年 4-③

「父母、祖父母を敬愛し、

### 【ねらい】 家族からの深い愛情に気付き、家族と力を合わせて、楽しい家庭をつくる心育を育む。

を育む。

《ねらいとよめる道徳的価値について》三・四年生の時期の児童は、家族を大切に思っているものの、家族がいることや家族にしてみらうことを当然のこととして受け止め、手伝いを面倒に感じたり、報酬をもらおうとしたりといった様子が見られるようになります。家族からの愛情に気付き、自分も重要な家族の一員として家庭生活に積極的に関わろうとする気持ちや態度を育てることが大切です。

## 導入



「自分にとって、家族とはどのような存在でしょうか。」

○家族観について話し合わせましょう。一番身近であり、一番大切であり、一番自分を理解してくれている存在だということを押えさせましょう。

○教師が「ブラッドレーのせい求書」の前半を読み聞かせましょう。道徳では、資料を全部提示してから話し合いをさせるのが一般的ですが、この場合は、家族からの愛情に気付くというねらいに深く迫るために、資料を分けて読み聞かせます。



「ブラッドレーは、どのようなことを考えながら請求書を書いたのでしょうか。」

○黒板の右側に、ブラッドレーが書いた請求書を拡大したものを提示して、ブラッドレーのお手伝いに対する考えを捉えさせましょう。

○教師が「ブラッドレーのせい求書」の後半を読み聞かせましょう。



「お母さんは、どのようなことを考えながらせい求書を書いたのでしょうか。」

○黒板の左側に、ブラッドレーの請求書と対比させるよう、お母さんが書いた請求書を拡大したものを提示して、ブラッドレーに対するお母さんの思いを捉えさせましょう。



「泣きながらお母さんに抱きついたブラッドレーは、どのようなことを思っていたのでしょうか。」

### 中心発問

○母からの無償の愛に気付いたときの気持ちや、家族の一員としてどのような思いをもったかを捉えさせましょう。

○中央に板書し、母とブラッドレーの家族としての思いが通じ合ったことを確認しましょう。



《評価》 家族から愛情や、家族の一員としての自分の立場に気付き、家族を愛し協力し合っって楽しい家庭をつくっていくようとする心情をもつことができたか。



「家族のためどのようなことをしていますか。その時どのような気持ちでしていますか。」

○自分の家族への関わり方について考えさせます。お手伝いに限らず、家族のためを思っていたことや、その気持ちを想起させましょう。

○「心しなやかに」p.24～p.25「孝は百行の本」の言葉や意味を紹介して、p.120～p.121「自分は家族の重要な一員だ」に記入をさせて授業のまとめとしましょう。

○教師自身の家族観や、子として、または親として、どのように家族を大切にしているかを語ってもよいでしょう。

## 板書例

ブラッドレーのせい求書

ブラッドレーはどのようなことを考えながらせい求書を書いたのでしょうか。

ブラッド  
レーの顔  
の挿絵

- いいことを思いついたぞ。
- 四ドルぐらい手伝ったから当然だ。
- もっと手伝ってもっともらおう。

ブラッドレーのせい求書

お使いいちん  
おそうじした代  
音楽のけいこに行ったこほうび  
合計

1ドル  
2ドル  
1ドル  
4ドル

泣きながらお母さんに抱きついたブラッドレーはどのようなことを思っていたのでしょうか。

母にだきついて泣  
いているブラッド  
レーの挿絵

- 自分のことしか考えていなかった。
- お母さん、ありがとう。
- お母さんは、こんなにぼくのことを思っていてくれたんだ。
- これからは、すぐにお手伝いをしよう。
- ぼくも、お母さんや家族のためになることをするよ。

お母さんからのせい求書

親切にしてあげた代  
病気をしたときのかん病代  
服や、くつや、おもちや代  
食事代と部屋代  
合計

※隠して児童に考  
えさせてもよい。

0ドル  
0ドル  
0ドル  
0ドル

お母さんはどのようなことを考えながらせい求書を書いたのでしょうか。

- ブラッドレーのことが大好き。
- ブラッドレーのためなら何でもしてあげたい。
- 家族のためになりたい。

お母さ  
んの顔  
の挿絵

家族のためどのようなことをしていますか。その時どのような気持ちでしていますか。

自分

愛情

家族

《評価》 家族からの深い愛情に気付き、家族と協力して楽しい家庭生活をつくらうとする心情を育てることができたか。

## 終末

## 展開